

大阪市工業用水道特定運営事業等

四半期事業報告書（第2四半期）

令和5年11月

みおつくし工業用水コンセッション株式会社

目次

I	事業実施状況	1
I-1	事業概要	1
I-2	実施体制	2
I-3	内部統制	2
II	業務実施状況	3
II-1	施設管理	3
II-2	運転管理	6
II-3	管路管理	6
II-4	お客さまサービス	9
II-5	その他	13
III-1	財務状況	14
III-2	各種使用水量	14
III-3	契約者数（工場数）	14
IV	令和5年度第2四半期時点での KPI の状況	15

I 事業実施状況

I-1 事業概要

1. 事業名称

大阪市工業用水道特定運営事業等

2. 施設の規模等

(1) 1日当たり給水能力

151,000 m³

(2) 管路の総延長

292 k m

(3) 給水区域

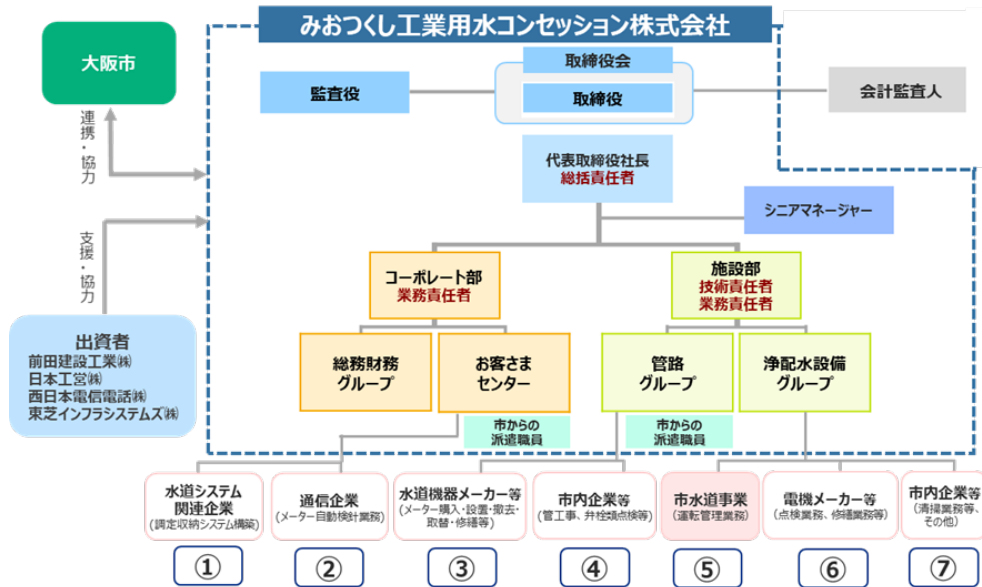
大阪市内の24行政区のうち、19行政区の一部地域



1-2 実施体制

実施体制は以下の通り。

実施契約第28条第1項に規定する事業体制図



受託・請負業務一覧は以下の通り。

受託者または請負者		委託業務または請負業務
①	水道システム関連企業	サーバー移設、システム改修・保守
②	通信企業	メーター通信結線等及び自動検針システム運用保守・検針
③	水道機器メーカー等	工業用水道メーター導入
④	市内企業等 (管工事、弁栓類点検等)	状態監視保全装置導入、漏水調査、水道メーター開閉栓、交通誘導他
⑤	市水道事業	東淀川浄水場等運転管理等
⑥	電機メーカー等 (点検業務、修繕業務等)	鶴見・桜宮配水場保守管理、建物維持管理、管理運営等に関する技術支援、水質計測機器他
⑦	市内企業等 (清掃業務等)、その他	鶴見・桜宮配水場電力供給、機械警備、浄化槽点検・清掃、お客さまサービスに関する業務他

1-3 内部統制

内部統制の基本方針、行動憲章を定め、透明性と公正性が高いコーポレートガバナンスと企業倫理に優れた内部統制として、コーポレート部と施設部の2部門を設置し、代表取締役社長を統括責任者、各部門長を業務責任者とし、複層的なセルフモニタリング体制を継続。当期は、会社法、社内規定に基づき取締役会への報告を7月に実施。

II 業務実施状況

【報告期間】

項目	令和5年度(2023)			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月

※本報告書の対象期間を以下「当期」という。

【凡例】

計画：令和5年度単年度事業計画書等の計画

実績：当期の実績、当期までの令和5年度累計を〔〕内に記載

今後：令和5年度第3～4四半期の予定

II-1 施設管理

1. 業務内容

(1) 浄配水施設

浄配水施設の保守点検、修繕など施設の保全作業を実施

ア) 施設整備

① 鶴見配水場 直流電源装置、無停電電源装置の更新

計画	令和5年度中の更新完了
実績	現地調査及び設計仕様の検討を実施
今後	第4四半期に設計完了、施工着手を予定（半導体不足等に起因する製作・納期の長期化により更新完了はR6年度となる見込み）

② 桜宮配水場 流量計（流入・流出）の更新の判断

計画	令和5年度中に更新時期の判断
実績	現地調査含め更新方針を検討した結果、令和5年度の更新実施を決定
今後	計画の前倒しにより、第3四半期に設計完了、令和5年度中に更新完了予定



直流電源装置：鶴見配水場



流量計：桜宮配水場

イ) 維持管理

施設設備の状態把握、異常等を早期に発見、対応するために行う日常巡視点検のほか、関係法令に基づく保安規程点検を実施

① 状態監視保全

計画	状態監視装置によるデータ収集・分析 令和5年度までに収集したポンプの振動や回転速度等のデータを用いて、発生した事象を分析し、故障予知に向けての整理
実績	調査設備4台（桜宮配水ポンプ1号、2号、鶴見配水ポンプ2号、鶴見液体抵抗器2号）を対象に状態監視装置によるデータ収集
今後	計画どおり、データ収集・分析を継続するとともに、令和5年度までに収集したポンプの振動や回転速度等のデータを用いて、発生した事象を分析し、故障予知に向けての整理

② 維持管理データベースの整備

維持管理データを蓄積

計画	維持管理データ等の蓄積、市との情報共有できる環境の整備
実績	維持管理データ等を蓄積 施設点検におけるICT機器の活用検討
今後	計画どおり、維持管理データ等を蓄積し、データベース化 点検におけるICT機器の活用を推進、市との情報共有できる環境の整備



状態監視装置（温度計）：鶴見配水場



ICT活用検討（点検記録入力）

③ 保守点検

計画	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週</p> <p>【SPC保安規程点検*1】 1回/月、1回/年</p> <p>【水道局保安規程点検*2】1回/月、1回/年</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢凝集沈澱池（2号）の清掃、保守点検 ➢沈砂池（1号・2号）の清掃、保守点検 ➢電気・機械設備の保守点検、メーカー点検
----	---

実績	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週</p> <p>【SPC 保安規程点検*¹】 1回/月、1回/年（6月実施）</p> <p>【水道局保安規程点検*²】 1回/月</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】 適宜実施</p>
今後	<p>【 巡 視 】全施設 1回/週</p> <p>【SPC 保安規程点検*¹】 1回/月</p> <p>【水道局保安規程点検*²】 1回/月、1回/年</p> <p>【清掃、保守点検、メーカー点検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶凝集沈澱池（2号）の清掃・保守点検：3月実施予定 ▶沈砂池（1号・2号）の清掃・保守点検：R6年度実施予定* *浄水場内他作業・工事との工程調整による ▶電気・機械設備の保守点検、メーカー点検：適宜実施 <p>（沈砂池清掃時に発生する処分土砂について、置き場への搬入時期を水道局調整した結果、令和6年度へ延期）</p>

*¹SPC 保安規程点検：電気事業法施行規則第52条第2項に基づき、外部委託により実施。

*²水道局保安規程点検：東淀川浄水場、北港加圧ポンプ場（上工水共有施設）は、大阪市水道局が策定した保安規程に基づき、SPCが点検を実施

④ 修繕

計画	保守点検等の結果に応じた修繕の実施、予算計画の策定
実績	<p>【東淀川浄水場】</p> <p>電気設備の修繕等2件〔2件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 硫酸ばんど給薬槽電極修繕 ▶ 排泥ポンプ制御盤電磁接触器交換 <p>機械設備の修繕等1件〔3件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロキュレータ3-1号固定部調整 <p>【鶴見配水場】</p> <p>電気設備の修繕等2件〔3件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 配水ポンプ3号・4号電動機ブラシ交換 ▶ 伝送装置回線異常調査・対応 <p>機械設備の修繕等1件〔5件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 液体抵抗器2号冷却水配管修繕 <p>【桜宮配水場】</p> <p>電気設備の修繕等2件〔2件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 機械警備ケーブルさや管・ボックス修繕 ▶ 屋外水銀灯タイムスイッチ交換
今後	保守点検等の結果に応じた修繕の実施、予算計画の策定



ストレーナ清掃：鶴見配水場



排泥ポンプ盤電磁接触器交換：東淀川浄水場

II-2 運転管理

① 運転管理

計画	年間配水計画に基づき浄水場・配水場等を安定的に運転
実績	年間配水計画に基づき浄水場・配水場等の安定的な運転を実施
今後	計画どおり、年間配水計画に基づき浄水場・配水場等を安定的に運転 今年度の配水実績を踏まえて次年度の年間配水計画を策定

② 水質管理

計画	連続計器及び水質測定により原水と供給水の処理効果及び水質確認を実施
実績	計画どおりに連続計器及び水質測定により原水と供給水の処理効果及び水質確認を実施し、異常がないことを確認
今後	計画どおり水質管理を実施

II-3 管路管理

1. 業務内容

ア) 状態監視保全

大規模漏水の未然防止を目的として、状態監視保全の高度技術を用いた広域探査・範囲探査・箇所探査による地下漏水の早期発見、地上漏水の被害規模の縮小化を図る。

① 状態監視保全の実施

計画	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 漏水音センサによる漏水検知の精度向上 ➤ 衛星画像解析に基づく範囲探査・箇所探査及び取組の有効性の評価 ➤ 漏水発生確率評価式の見直し
実績	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 漏水検知の精度向上に関する共同検証（漏水音センサメーカー） <ul style="list-style-type: none"> ・音域センサ設置 ➤ 衛星画像解析に基づく取組の有効性評価（中間とりまとめ）

	・衛星画像解析に基づく取組内容の整理（漏水確認手順、漏水確認状況等報告書の作成・とりまとめ）
今後	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 計画どおり、音圧・音域測定の継続。傾向分析（音圧・音域）による漏水検知の精度向上 ➤ 計画どおり、衛星画像解析に基づく漏水箇所（2か所）のうち、未特定1か所の調査を実施予定。衛星画像解析に基づく取組の有効性評価（最終とりまとめ） ➤ 計画どおり、漏水発生確率評価式の見直しを実施予定

② 水量・水圧データの分析による状態監視

計画	➤ 水量水圧データにもとづく管路機能の把握を継続
実績	<ul style="list-style-type: none"> ➤ お客さま使用水量データや配水情報システムデータの取得の継続 ➤ 水量水圧調査の実施にもとづく、管路諸元検証を継続
今後	➤ 水量水圧調査結果、お客さま使用水量データ、配水情報システムデータに基づいた管網計算の精度向上、管網に適合した計測機器配置と測定内容の検討



音域センサ



水圧調査状況

イ) 管路更新等

① 移設または復元が必要な管路の更新

道路工事やその他外的要因等に伴う、管路の移設または復元工事を行う。

計画	海老江 8：実施設計の完了 中津 1：支障移設協議の完了
実績	海老江 8：淀川左岸線工事に伴う支障移設協議を継続 中津 1：支障移設協議 中津歩道橋：支障移設協議、実施設計を継続 津守 2：支障移設設計を継続
今後	海老江 8：実施設計を令和 6 年度前半に完了後、工事着手予定（道路管理者との協議による変更） 中津 1：計画どおり、支障移設協議を完了 中津歩道橋：支障移設協議、実施設計を令和 5 年度中に完了予定 津守 2：支障移設設計を完了

② SPC 選定路線の更新

計画	桜島 2 : R4 漏水実績より再検討 更新路線の選定 : R4 漏水実績を踏まえて実施 (桜島 2 ~ 3 丁目の見直し含む)
実績	桜島 2 : 大野 3 への変更協議を継続 大野 3 : 老朽化路線として抽出、更新計画を協議中
今後	桜島 2 : 大野 3 への変更を予定 大野 3 : 更新計画の策定、実施設計

③ 管路の更新、末端管路の撤去

計画	予定なし
実績	なし
今後	予定なし

ウ) 管路の維持保全

① 維持保全

対象施設の維持管理手法等を定めた「管路維持保全の実施手順書」に基づき、維持管理業務を行う。

計画	配水設備の維持修繕作業 (突発漏水を除く)、幹線弁栓類等調査整備作業、水管橋・共同溝内配管の巡視、管路用地の巡視および点検
実績	【管路巡視作業】 管路巡視点検を 4 月から開始し完了 (92/92km) 【幹線弁栓類等調査】 昨年度から開始し継続 (81/353 基) 【管路用地点検】 巡視点検を 5 月から開始し完了 (10/10 箇所) 【水管橋・共同溝内配管の巡視】 9 月から調査開始し継続
今後	【幹線弁栓類等調査】 昨年度から継続中の調査を完了 【水管橋・共同溝内配管の巡視】 第 3 四半期以降に調査完了



管路用地等雑草伐採前：高殿 1-9



管路用地等雑草伐採後：高殿 1-9

② 緊急修繕

突発漏水等発生時、お客さまや関係者への連絡、現地立会、必要な修繕・調査等の対応。

計画	事象発生のと度対応
実績	緊急修繕：6件〔11件〕 ▶突発漏水：6件〔8件〕 ▶鉄蓋調整等：0件〔3件〕 ▶その他：0件〔0件〕
今後	事象発生のと度対応

【参考】緊急修繕（突発漏水）過去実績

年度(通年)	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5(4月～9月)
発生件数	11	18	11	17	15	17	8



緊急修繕完了：大野3丁目



漏水箇所：大野3丁目

II-4 お客さまサービス

1. 業務内容

ア) 工水需要を喚起する施策

① 給水収益や新たな収入源の確保

計画	<p>【新規利用に向けた営業活動】</p> <p>給水収益増加もしくは新たな収入源の確保を促す施策を実施 地下水利用者や新規着工事務所等をターゲットとした営業活動により新規のお客さまを獲得</p> <p>【試験料金プラン】</p> <p>効果測定に基づく精査等を行い、新料金プラン策定</p> <p>【新規開始支援策】</p> <p>利用開始時の負担低減のため、新規開始支援策の実施</p> <p>【お客さま満足度調査】</p> <p>お客さま満足度調査の実施</p>
----	---

実績	【新規利用に向けた営業活動】 3件の新規利用申込〔4件〕 【試験料金プラン】 新料金プラン策定、供給規程の変更案の作成 【新規開始支援策】 1件の工事費用分割払いサービス適用〔1件〕
今後	【新規利用に向けた営業活動】 PR、コンサルティング・アンケート等を活用し継続 【試験料金プラン】 新料金プラン、供給規程の変更案の協議 【新規開始支援策】 PR、ヒアリング・アンケート等を活用し継続 【お客さま満足度調査】 2月に実施予定

イ) お客さまサービス

① 各種受付・問合せ対応

計画	窓口の一本化、お客さまからの相談・問合せ等を24時間365日受付・対応 HPにお問合せフォームから受付、お客さまからの意見・連絡等を随時受付
実績	問合せ等の都度、電話・メールで対応、原因究明や現地調査等を実施
今後	継続して実施

問合せ内容	当期件数
自動検針システム	0〔1〕
メーター	6〔9〕
漏水	6〔8〕
料金 ^{*1}	8〔17〕
給水工事（開始中止手続・費用） ^{*2}	2〔7〕
水質異常（にごり水）	7〔9〕
水圧異常・出水不良	3〔7〕
異物漏出	0〔0〕
その他 ^{*3}	20〔31〕
合 計	52〔89〕

(主な内容) *1 振込口座、請求内容の照会、請求書着日の問合せ、等

*2 新規給水検討、給水工事の費用、中止・撤去費用の問合せ、等

*3 図面照会、利用者変更、下水道についての問合せ、等

② 水道メーター点検

計画	使用水量等の確認 異常水量、検針不能等の際、お客さまへの連絡および原因究明等の対応
実績	定例点検日を毎月1日として、計画通り実施
今後	継続して実施

③ 利用料金の収納

計画	水道メーター点検結果に基づく利用料金算定と請求書送付
実績	請求金額 (A) 376.84 百万円 ^{*1} (税込み) 収納金額 (B) 376.76 百万円 ^{*1*2} (税込み) 徴収率 (B/A) 99.9% ^{*1} R5.6~8 月分の請求金額及び収納金額。(9 月分は 10/1 検針後請求のため含まない) ^{*2} R5.9 末時点では未収であったものの、口座振替により翌月に収入されたものを含む。
今後	継続して実施

④ システムによる利用者情報の管理

計画	各種システムの監視、操作権限者等の管理
実績	計画通り実施
今後	継続して実施

⑤ 情報発信

計画	工業用水道事業の情報を HP 等で随時発信 漏水による断水等の情報をお客さまへ向けて HP 等で発信
実績	他事業者との意見交換、水質検査結果、漏水情報等を順次 HP 等で発信
今後	継続して実施

⑥ 給水施設、水道メーター、誤接合防止に関する業務

a. 使用開始に伴う工事申し込み

計画	新規給水申し込みの都度対応 (誤接合防止の確認を含む)
実績	新規給水申し込み: 2 件〔5 件〕
今後	継続して実施

b. 使用中止に伴う工事申し込み

計画	使用中止申し込みの都度対応
実績	使用中止申し込み: 2 件〔2 件〕
今後	継続して実施

c. 水道メーター検査

計量不審の疑いがあるメーターについて、計量法上の使用中検査に基づく試験を行う。

計画	お客さまからの問合せ等の都度対応
実績	該当する事象はなし
今後	継続して実施

d. メーター交換

メーター検定満期に伴う交換と、お客さまへの事前通知。

計画	<p>【検定満期に伴う交換】14件</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1四半期：0件 ➤ 第2四半期：3件 ➤ 第3四半期：11件 ➤ 第4四半期：0件 <p>【故障に伴う交換】随時交換</p>
実績	<p>交換：10件〔2件〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 検定満期：9件〔9件〕 ➤ 故 障：1件〔2件〕 <p>今年度検定満期分：0件〔0件〕</p> <p>来年度以降検定満期分：1件〔2件〕</p>
今後	<p>検定満期に伴う交換を実施</p> <p>故障の際、交換を実施（随時）</p>

II-5 その他

ア) 災害への対応

計画	災害対応活動を迅速・適切に実行できる体制の整備 災害対応訓練の実施
実績	【緊急連絡体制】 休日夜間を含む緊急時連絡体制の運用の継続他 【事象の発生】 なし
今後	災害対応教育を実施し、危機管理意識と災害対応力の維持と向上

イ) 事故への対応

計画	事故対応活動を迅速・適切に実行できる体制の整備 事故対応訓練の実施
実績	【事故対応活動】 事故対応マニュアルに基づき、事故対応活動の体制を整備 配水圧力低下事象の再発防止策をとりまとめ（7月）水道局に報告（9月） 【緊急連絡体制】 休日夜間を含む緊急時連絡体制の運用他 【事象の発生】 突発漏水に対して、緊急修繕を6件実施〔8件〕
今後	事故対応訓練を実施し、危機管理意識と事故対応力の維持と向上

III 事業収支

III-1 財務状況

	今年度 (4月～9月：実績)	今年度 (4月～3月：計画)
売上高	719	1,341
給水料	687	1,281
その他	32	59
売上原価	490	1,091
給水費用	471	1,049
その他	19	43
販管費	97	196
営業外収益・費用	6	13
経常損益	125	41

当期の売上高は 719 百万円。

【給水料】 687 百万円（単年度計画：1,281 百万円）

前年度比 102%（R4 第 2 四半期実績：675 百万円）

単年度計画比 54%で順調に推移

【売上原価】 490 百万円（単年度計画：1,091 百万円）

単年度計画比 45%で順調に推移

【経常損益】 125 百万円（単年度計画：41 百万円）

単年度計画比 306%で推移

III-2 各種使用水量

単位：千m³

項目	前年度当期	今年度当期	前年度比
給水量	5,047〔9,024〕	5,275〔10,193〕	+4.5%〔+13.0%〕
実使用水量*1	5,903〔11,218〕	5,968〔11,385〕	+1.1%〔+1.5%〕
責任使用水量	4,324〔8,605〕	4,291〔8,540〕	▲0.8%〔▲0.7%〕
超過使用水量	2,908〔5,344〕	2,991〔5,544〕	+2.8%〔+3.7%〕
調定水量*2	7,233〔13,948〕	7,282〔14,084〕	+0.7%〔+1.0%〕

*1 上水（水道水）によるバックアップ水量含む

*2 調定水量（料金対象）＝責任使用水量＋超過使用水量

III-3 契約者数（工場数）

	前年度 年度末（R5.3）	今年度 当期末（R5.9）	前年度末 増減
契約者数（工場数）	345	344	▲1

（新規：4件、中止：5件）※名義変更による新規・中止を各0件含む

IV 令和5年度第2四半期時点でのKPIの状況

令和5年度KPI目標値に対し、当期時点で遅延や未達は生じず順調に進捗しており、達成した項目の維持を継続している。
 なお、今後もPDCAサイクルを回しKPIの達成に向け継続的に業務を実施する。

項目	業務	目標値	管理項目	期限	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
【施設・管路管理業務】											
ICTの活用	浄配水設備・管路の維持管理効率化のためのICT等の新しい技術・ツールの活用	5件	活件数	年度末まで	1件	0件	1件	1件	0件	0件	3件
【施設管理業務】											
状態監視	状態監視装置の取得データを分析し、設備故障の予兆検知に向けた取り組みを実施	2回	分析回数	年度末まで	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
【管路管理業務】											
状態監視	漏水箇所での漏水音データ（漏水あり/なし）の取得・分析による漏水検知精度の確認	3回以上	精度確認回数	年度末まで	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回
状態監視	利用者側の急激な受水等に伴う水圧低下時の原因の検討および個別の対応策の実施	3件以上	対応件数	年度末まで	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
【お客さまサービス業務】											
給水収益や新たな収入源の確保	給水収益増加もしくは新たな収入源の確保を促す施策を実施	実施した施策件数	3件以上	年度末まで	0件	1件	0件	0件	0件	0件	1件
給水収益や新たな収入源の確保	地下水利用者や新規着工事事務所等をターゲットとした営業活動により新規のお客さまを獲得	新規利用申込件数	5件以上	年度末まで	0件	0件	1件	2件	1件	0件	4件
利用者とのコミュニケーション	前年度と比較したお客さま満足度の改善	満足度平均点の前年度平均点との比較	10%以上増加	年度末まで	-	-	-	-	-	-	-
【経営全般】											
事業体制構築	内部統制の確立	監査報告書での重大な指摘ゼロ	内部統制方針の順守	年度末まで	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
事業体制構築	承継業務、基本業務の整理による円滑な事業運営と着実な業務遂行	要求水準違約金発生ゼロ	要求水準の順守	年度末まで	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件

以上